

# 令和 2 年度全体事業概要報告

特定非営利活動法人  
高度情報通信推進協議会

当協議会は、令和 2 年度はコロナ禍においても事業安定化を目指しつつユーザ側の視点に立った高度情報通信分野の施工技術・技能に関する人材育成及び情報提供を行うことを目的として以下の事業を展開してまいりました。

## I 人材育成・認定事業

### (1) 技能検定事業

厚生労働大臣指定試験機関として、情報配線施工技能検定試験の公正かつ積極的な運営を行っています。令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴いやむなく第 1 回 2 級検定試験及び第 1 回 3 級検定試験を中止し、大幅な受験者減となりました。一方、技能検定事業の活性化策として受験者増を最大の課題と位置づけ、特別委員会でその対策を検討し強力に進めて参りました。なお、今年度も厚生労働省の実技試験受検料減免措置制度(35 歳未満の若者を対象)2 級及び 3 級実技試験で適用しています。

・コロナ禍により第 1 回 2 級(学科 6 月 6 日、実技 8 月 22 日)及び第 1 回 3 級検定試験(6 月 6 日)を中止しました。

・第 2 回 3 級(9 月 26 日)及び令和 3 年 1 月 30 日に第 3 回 3 級及び第 2 回 2 級、第 1 回 1 級検定試験を実施しました。

また、全国の実技試験での採点の統一性確保並びにコロナ対策のため、中央水準調査委員会を実施しています (Web 会議方式)。

### (2) INIP 認定事業

現在、今後の INIP 認定事業の在り方を検討しており、INIP 認定試験は中止していません。

## II 普及・啓蒙事業

普及・啓蒙事業の一環として、より高度な施工技術に関する技能五輪等関連事業への支援活動を推進してまいりました。また、技能五輪競技課題に情報配線施工の国際標準化を開始しました。これらの事業を行い人材育成ならびに技術の普及に努め社会的地位の向上を目指しました。

### ① 第 58 回技能五輪全国大会への活動支援

第 58 回技能五輪全国大会 (愛知県：無観客開催) の運営協力団体として競技用機材・部材の調達・提供や予選会の開催 (24 名の選手推薦) など技能五輪支援活動準備を積極的に行いました (11 月 13 日～11 月 16 日)。

② 技能五輪職種連絡会

職種連絡会は技能五輪国際大会事業の更なる向上発展を目指し、当協議会会員の賛助企業からの支援を得ながら職種連絡会等を開催しました。

④第 46 回技能五輪国際大会への活動支援

今年度 10 月開催予定だった第 46 回技能五輪国際大会(中国の上海市)は新型コロナウイルス感染対策として 2022 年 10 月 12 日～17 日に延期されました。

⑤ 第 16 回情報通信配線技術フォーラム 2019

東京ビッグサイトで第 16 回目の情報通信配線技術フォーラム 2019 を第 19 回光通信技術展 (FOE2019) と共催で開催を致しました (7 月 17 日～19 日)。

⑥ 情報配線システム標準化委員会

技能の国際標準化を目的に、昨年度より (一社) 電子情報技術産業技術協会に設置されている情報配線システム標準化専門委員会にリエゾン会員として加盟しており、この活動を通じて、我が国から ISO/IEC SC25/WG3 へ Sustainable Cabling System (仮称) の審議を行っています。

⑦ 内部監査

例年年度末に技能検定試験事業を通じて課題など検証するため、監事のもとに内部監査を実施しました (3 月 29 日)。

⑧ 各表彰制度への推薦

令和 2 年度秋の厚生労働大臣賞を特別技能検定委員が受賞されました。

最後に財政的には、当協議会の経営環境は引続き極めて厳しい状況であり、今年度も単年度黒字化目標に向かって運営改善に取り組めます。目標達成には、当協議会事務局のリーダーシップと業務の迅速化等も大きな課題であります。引き続き経費削減と併せて、更なる組織強化を図り、効率的に各委員会等の運営を行います。広報活動、会員サービス等も提供してまいります、その改善・改革には関係各位のご理解とご協力が不可欠となります。